

# 敬老会 & ちどり会さま

9月15日(土)に一足早く、“なごみの郷”で『敬老会』を開催致しました。

“なごみの郷”の3大行事と言えば、夏祭り、文化コンサート、新年会ですが、特別養護老人ホームとしては一番のメインイベントかもしれませんね。



会場には敬老を祝して事前に贈呈していただいたタオル(㈱アスティ様から95枚)、タバコメビウスワン(日本タバコ産業㈱様から3カートン)、を展示して、お祝いの雰囲気華をそえていました。(㈱アスティ様・日本タバコ産業㈱様、どうも有り難うございました。

ところで全国の100歳以上の高齢者は今年6万9785人もいらっしゃるそうです！びっくり！！

そのうち“なごみの郷”では100歳以上の方が2人いらっしゃいます。凄い！！

現在102歳の女性の方が一番お姉さんです。

はじめに施設長の挨拶から始まり、松井広島市長からご祝辞(代読)をいただきました。

次に、広島市老人福祉施設連盟から勤続10年の職員の表彰を受けた職員を紹介させていただきました。

離職率の高い業界の中、“なごみの郷”では今年度8名もの職員が勤続表彰を受けました。

これからも利用者様にとっても、職員にとっても魅力のある法人であり続けるため、日々精進致します。

その後、毎年恒例の「ちどり会」様によるお琴の演奏会で『敬老会』を盛り上げていただきました。お琴の心地よい音色と共に「おぼろ月夜」「ふるさと」「星影のワルツ」等、利用者様にも馴染みの曲を多く演奏していただきました。演奏に合わせて自然と手拍子や口ずさまれる利用者様の顔は笑顔でいっぱいでした。

そしてご公務多忙な中、衆議院議員の河井克行様が駆けつけてくださいました。

これからも地域の中で地域と共に利用者様の生活を支えていけたらと改めて思いました。

最後に賀寿の方々と一緒に記念撮影を行いました。

それぞれの賀寿の色の頭巾とちゃんちゃんこを身に纏い、少し照れたような表情の利用者様がとても印象的でした。

これからも利用者の皆様の健康と長寿を近くで祈りながら、日々の生活を支えられたらと思っています。



特養4階 持掛 梓



# あいあいねっと

## 西日本豪雨災害の食料支援のご報告！

7月6日に西日本を襲った豪雨災害を受け、“あいあいねっと”では、食料提供を通じて復旧支援をお手伝いしています。

“あいあいねっと”に寄せられる食品を活用しているパートナーシップ団体「おかず倶楽部」の堀川さんは、呉市で自身も被災されている中、復旧ボランティアさんの食事作りをされています。食農コーディネーターでもあり、お料理が上手なので、どんな食材でも美味しい食事に変えてしまう堀川さん。週に1度“あいあいねっと”へ食材を取りに来られます。「やっと重機での復旧作業が始まりました。泊りで作業に当たっている人もいるので、朝は簡単に食べられるパンとジャムがとても喜ばれています。発泡スチロールや使い捨ての容器、スプーンなどはないでしょうか。今度、被災したこども達を農場に招待して夏休みの思い出作りをプレゼントしようと思っています。お菓子やジュースはありませんか？被災地でのもったいない食材の活用を知り、呉でも広げていけないかと考える仲間ができたので、ぜひ、“あいあいねっと”の見学をさせてほしいです。」など、いろいろなお話を聞かせてくださいます。

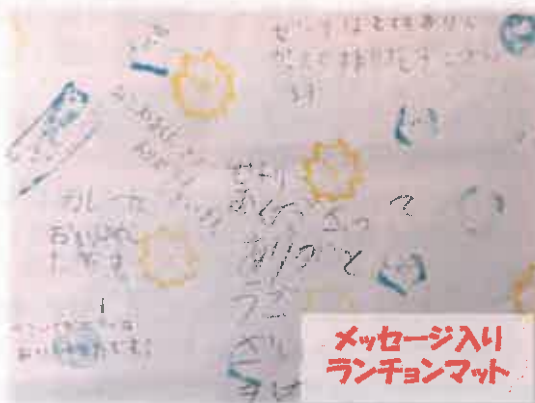
可部の八百屋「おいしい菜」を経営する野菜ソムリエの来須さんは、深川の明光寺で被災地域の子どもたちを対象に、夏野菜カレーを作る会を開かれました。被災地域では、緊急車両が通ったり、土砂が入った土嚢袋が積まれていたりして、外で遊ぶことができずに家に閉じこもっている子どもたちが大勢います。大人は仕事と復旧作業。せつかくの夏休みもさみしく過ごす子どもたちのために、楽しいひと時をプレゼントしようと、明光寺さんの協力のもと、野菜ソムリエの仲間と一緒に企画されました。イベント終了後、「野菜スタンプのランチョンマットを作ったり、茄子やかぼち



やが嫌いと言いながら作ったカレーを美味しい!!って残さず食べたり、本堂の中を元気いっぱい駆け回る子どもたちを見ると、やってよかったと思い、嬉しくなりました。お母さんたちからは、子どもたちも溜まっていたエネルギーが爆発したんだろうね。久しぶりに楽しそうな顔が見れました。ありがとうございます。と言ってもらえました。」と、メッセージ入りのランチョンマットを届けてくださいました。この会では、マックスバリュ様のお米

とアラハタ様の野菜とフルーツのゼリーを提供。子供たちの楽しそうな笑顔が思い浮かびます。

お盆休みには、「フードバンクとやま」の皆さんが、富山から広島までお水を85ケース届けに来てくださり、安芸区ボランティアセンターで活用していただきました。“あいあいねっと”に提供された食材は、被災地の復旧を支える団体や個人の方を通じて、被災者や復旧作業に当たる方の食事として活用され、多くの繋がりや絆が生まれています。困っているときこそ人の温かさと強さを感じます。復旧作業は、まだまだ続いています。細く長く、“あいあいねっと”も豪雨災害支援のお手伝いをさせていただけたらと思います。



あいあいねっと 増井祥子



## 落合小学校の運動会



9月16日(日)、落合小学校の運動会を見学に行ってきました。  
今夏の好天で猛暑の反動なのかどうなのか(？)、ここ数日は秋雨前線が居座って週末は雨の日が続いています。本来は15日(土)に開催の予定でしたが、雨による延期で16日の開催となり、私の出番です。6名の利用者様と一緒に爽やかな雨上がりの青空の下、可愛い小学生からエネルギーをいただきました。



特養3階 前原 瑞紀



## 訪問介護

### ～旬な食事作り～

皆様、辛かった酷暑を過ぎ、やっと過ごしやすい季節になりましたね。

私は今年2月から、なごみの郷訪問介護事業所に勤務させていただいております。早いもので、もう7か月が経ちました。この7か月間、とても濃い時間を過ごし、本当に勉強になりました。これからも、色々な方達に刺激をもらい、日々勉強、成長できたらと思っています。

さて、話は本題に入りますが、秋と言えば“スポーツの秋”“芸術の秋”、そして何といても“食欲の秋”ですね。

訪問介護では、生活援助での調理のご利用が多く、旬な食材で栄養バランスも考えた献立を心掛けています。ネットで見つけた秋の人気食材ランキングでは、1位:栗、2位:サンマ、3位:さつまいも、4位:マツタケ、5位:柿、と順位がついていました。

旬の食材は栄養価が高く、価格もお手頃です。マツタケは別ですが…(笑)。これらの食材を使用し、塩焼きはもちろん、食べやすいように、炊きこみご飯、ホイル焼き、サラダ等を提供しています。旬な食材を通して利用者様との会話も弾み、昔の話や豆知識を伺うことができ、コミュニケーションも図れます。「昔はコンロなんてないから七輪でサンマを焼いていたの。でも、美味しかったわよ。」とか「サンマは口先が黄色い方が美味しい」「煮るときは梅干を一緒に入れると煮くずれせず、柔らかくなるんよ」など、年配の方の知恵はヘルパーにとっても勉強になります。

これからも、季節ごとの旬な食材を利用し、利用者様の食べる楽しみ、食欲増進につながればと思っています。

ヘルパーステーション 上田 めぐみ